

米子駅南北自由通路等整備に係る動向について

平成26年7月3日
道路建設課

1 経緯

- ・平成25年11月県議会において、米子市が米子駅南北自由通路の整備に着手する場合には、県は、県議会の賛同を得ながら支援するとの考えを示し、その後、米子市長が12月2日の市議会全員協議会で、整備に着手するとの方針を表明されました。
- ・この表明を受けて、米子市及びJR西日本米子支社と協議を開始し、米子市の今年度予算及び新体制（「米子駅周辺整備推進室」の新設）が決まったことから、「第1回米子駅南北自由通路等整備事業協議会」（県・米子市・JR西日本米子支社：事務局米子市）を4月24日に開催し、今後の取組や事業スケジュール等について協議を行ったところです。

2 これまでの協議状況

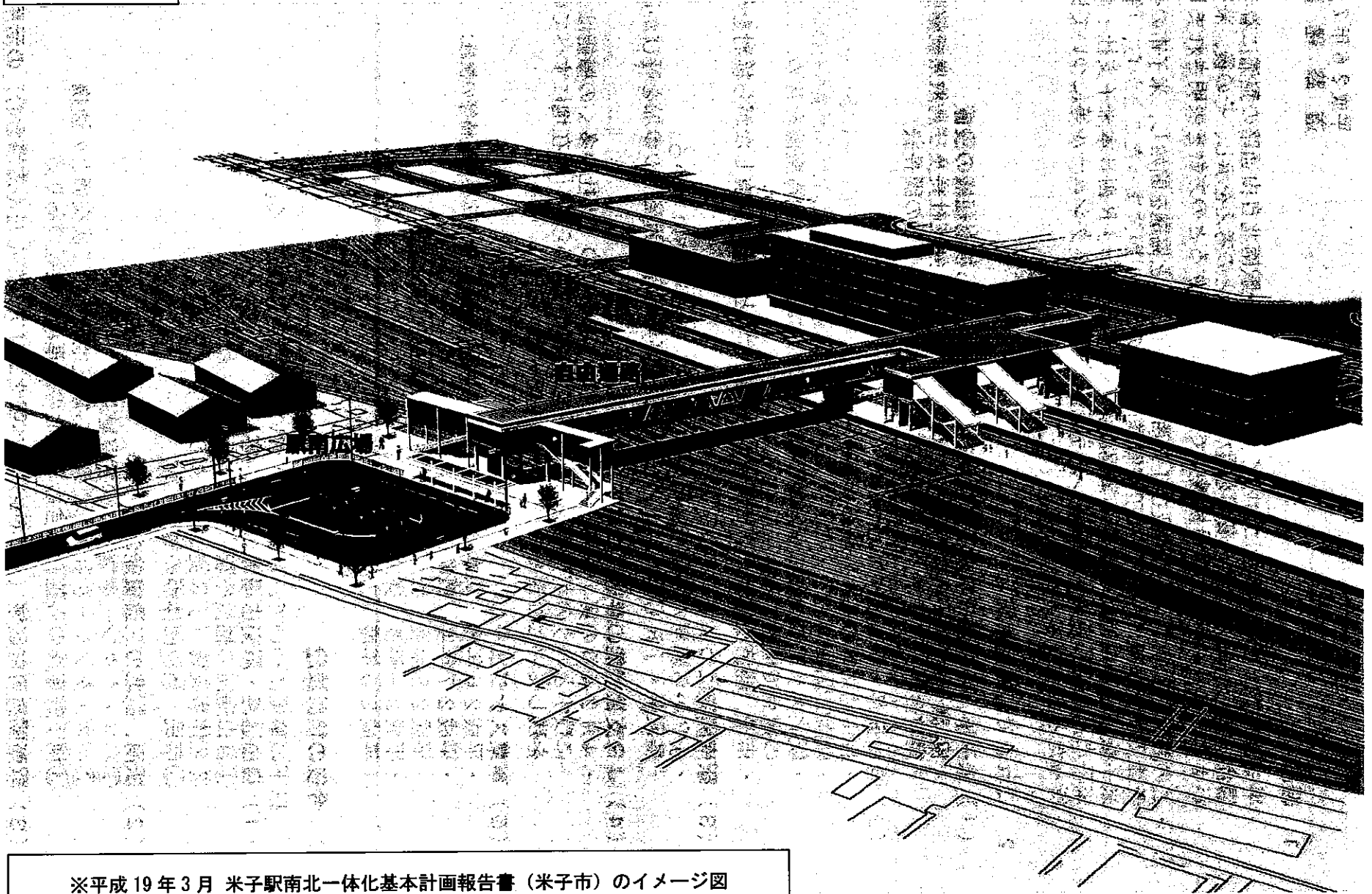
- (1) 米子市、JR西日本米子支社及び鳥取県からなる検討組織の設置
 - ・協議会（米子市副市長、JR西日本米子支社副支社長及び鳥取県統轄監）
 - ・調整会議（米子市、JR西日本米子支社及び鳥取県の課長級）
- (2) 自由通路・駅南広場等について
 - ・自由通路等の基本計画の検証を行う。（市が平成26年度に検討委託を実施）
 - ・駅南広場について、バス・タクシー、一般送迎などを考えながら面積等を検討する。
 - ・駅北エリアについても、地下駐車場（現在は機械式）の再整備を含め、二次交通の観点で検討する。
 - ・市民、経済団体、バス・タクシー事業者等と情報を共有しながら検討を行う。
- (3) 駅南開発について
 - ・JRから駅南の開発可能用地として約1.6haが示されている。
 - ・鳥取県・JRも協力し、米子市が民間事業者等に開発への参加を呼びかける。
- (4) JR支社機能の存置について
 - ・4月24日の第1回協議会において、JRからの「支社の多くの機能は、米子に残すというのが現実的」との発言を受け、県からも「現在地にすべての機能を残していただきたい。」と要望している。
- (5) 事業スケジュール
 - ・平成26年度 基本計画の検証（自由通路の幅員、駅南広場の面積等の検証）
 - ・平成27年度 概略設計
 - ・平成28年度 都市計画決定（自由通路及び駅南広場）
 - ・平成29年度 詳細設計
 - ・平成30年度 工事着手を目指す

3 今後の検討課題

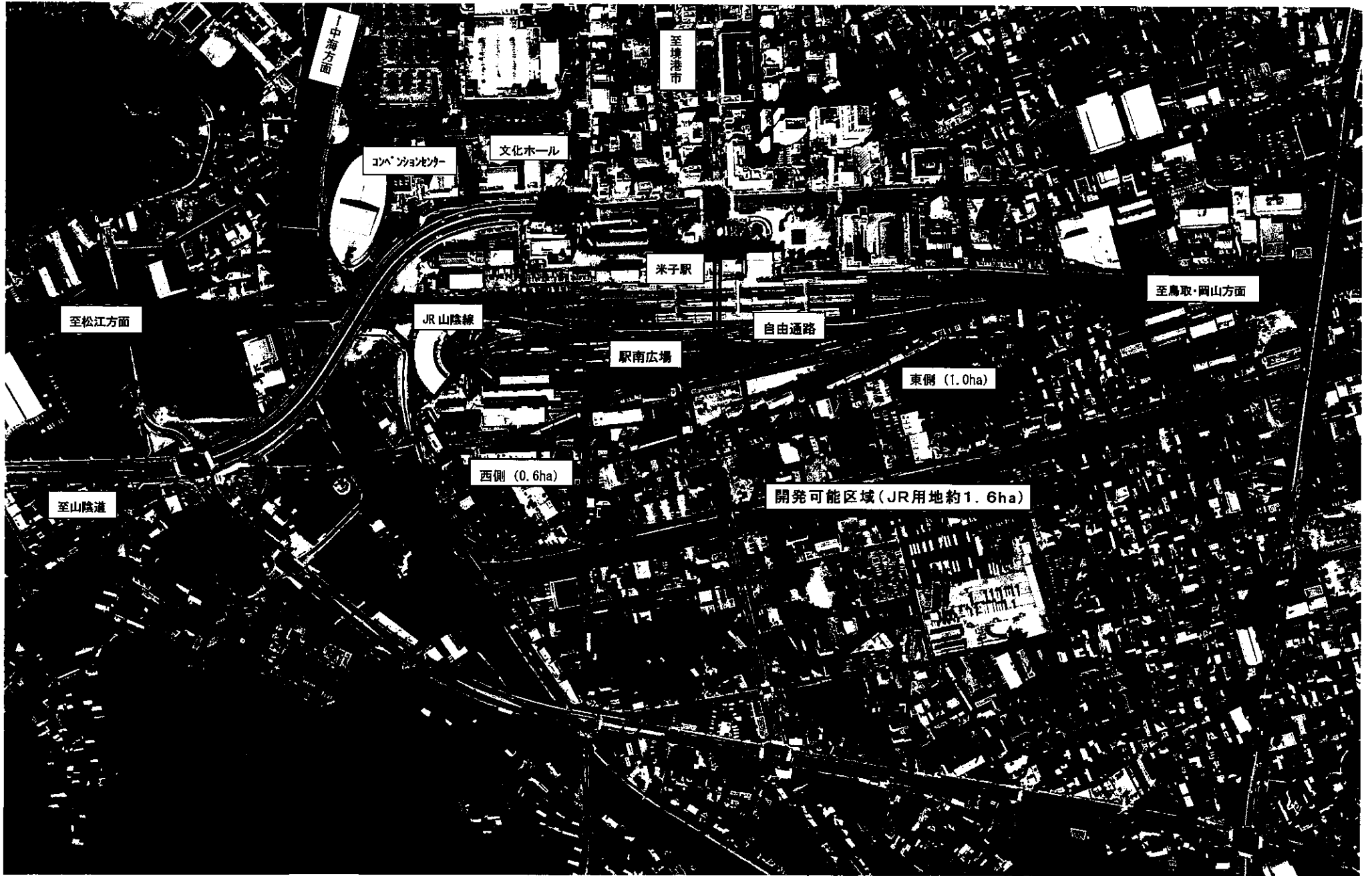
以下の事項について、協議会等において検討を進めていく。

- (1) 自由通路・駅南広場等の事業内容
 - ①自由通路の幅員や駅南広場の面積等の検証
 - ②全体事業費（JR提示の約40億円）の検証
 - ③市民・経済団体等の意見聴取
- (2) 駅南、駅北の交通機能のあり方
 - ①バス・タクシー事業者への意見聴取
 - ②バス・タクシーを利用した駅から観光地等への二次交通との連携
 - ③地下駐車場の再整備を含めた駅北の駐車場機能等のあり方
- (3) 駅南開発可能区域（約1.6ha）及び駅北エリア（だんだん広場含む）の活用
- (4) JR支社機能の存置
- (5) 県の財政支援

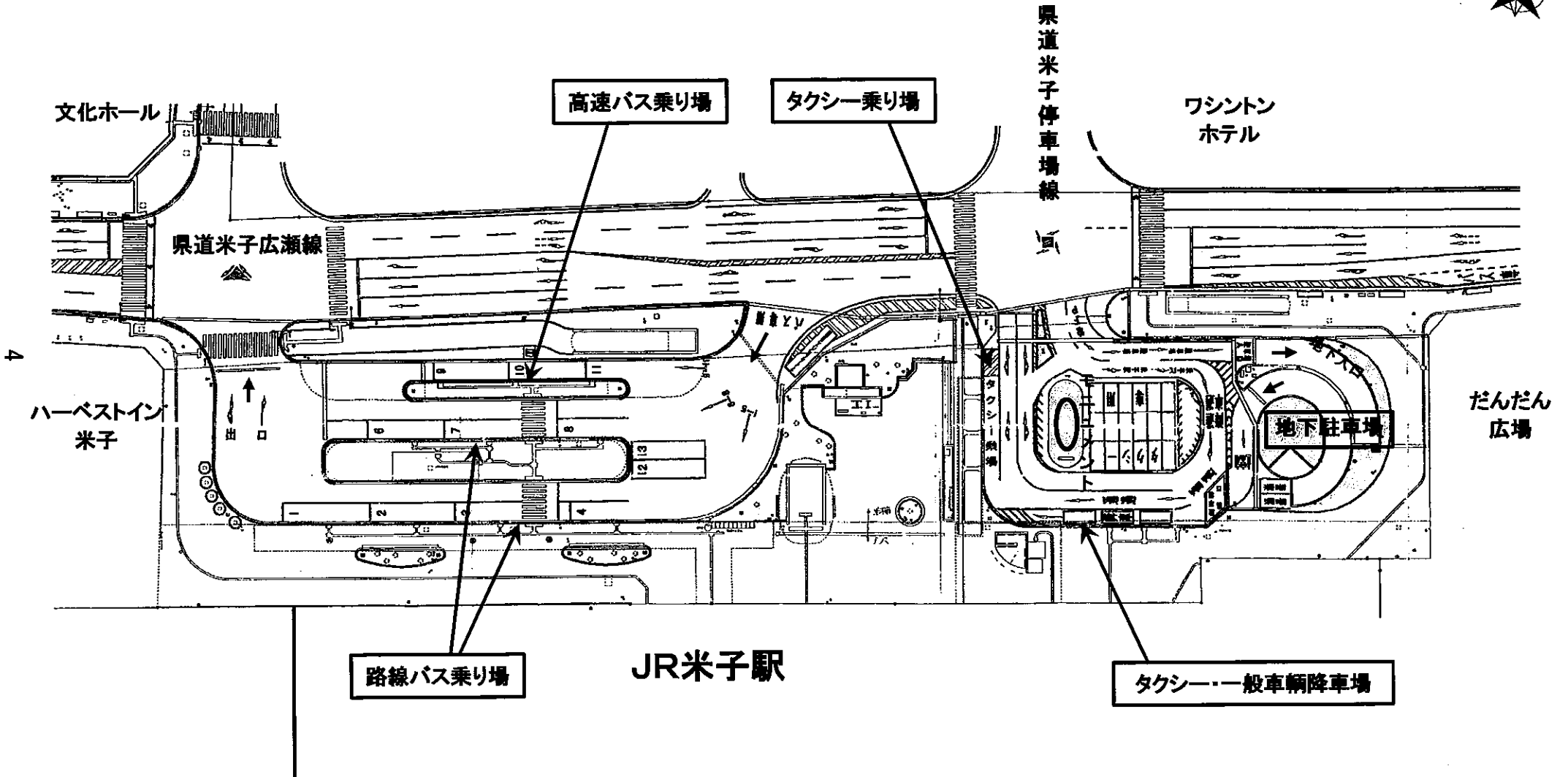
南側パース



※平成19年3月 米子駅南北一体化基本計画報告書（米子市）のイメージ図



米子駅前広場(北側)の現状



文化ホール

高速バス乗り場

タクシー乗り場

ワシントン
ホテル

県道米子広瀬線

県道米子停車場線

4

ハーベストイン
米子

だんだん
広場

地下駐車場

路線バス乗り場

JR米子駅

タクシー一般車輛降車場